

第9回国土交通省成長戦略会議

平成22年3月24日

【中原政策官】 それでは、定刻過ぎておりますので、ただいまより、第9回国土交通省成長戦略会議を開催させていただきたいと思っております。

皆様方におかれましては、大変お忙しいところお集まりいただきましてまことにありがとうございます。前原大臣、ちょっと外の用事が長引いて10分ほどおくれて到着すると思っております。申しわけありません。

【辻元副大臣】 じゃあ、もう、どうぞ。早くやりましょう。中身を。

【中原政策官】 それでは以降の議事進行を座長お願いいたします。

【長谷川座長】 はい。承知いたしました。

ただいま中原政策官のほうからご案内がありましたように、大臣はちょっとおくれてこられるけれども、貴重な時間なので、直ちに始めてほしいというご要請もございましたので、本日の議事を開始させていただきます。

今回は各分野の検討報告を行っていただく予定でございます。本日はまず観光分野の検討報告について、大変駆け足で恐縮ですが、15分から20分程度でご発表いただきまして、それに対する質疑を30分程度行いたいと存じます。その後で住宅都市分野と国際展開分野の検討報告について、同様の。

あ、大臣、来られました。ちょうどいいタイミングでお越しいただきましたので、じゃあ、来られて早々恐縮ですけれども、一言ごあいさつをお願いできますでしょうか。

【前原大臣】 皆さん、こんばんは。お忙しい中、長谷川座長さんはじめ各委員の皆さん方にお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

今日、予算が成立をいたしまして、いよいよ我々の関心事は平成23年度の今度は概算要求ということになってまいりますし、その概算要求の前提となるさまざまな施策というものを、しっかりと決めていかななくてはいけないということになるかと思っております。私は自負をしているのは、この政権には成長戦略がないということをよく言われますけれども、決してそうではありません。ただ、皆さん方のおかげで他省庁もかなり触発されて、いろいろな成長戦略の会議体をつくられて、さまざまな検討が始まり、いい形で成長戦略についての議論が出てきているなと思っております。そういう意味では皆さん方のおかげ

で、日本の経済の成長に関するまともな議論を最も濃密にやっていただけると、ほんとうに感謝をしたいと思っております。皆さん方のご尽力をしっかりといよいよ平成23年度予算の中身に詰め込むために、我々も必死になって頑張っただけですので、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。

【長谷川座長】 まだプロジェクト半ばで大臣からお褒めの言葉をいただきましたけれども、最終的にご期待に沿うようにぜひそろそろホームストレッチにかかってまいります。年度がわりでご多忙の中ではありますが、最終成果物が大臣、政務三役あるいは国交省の皆さんのご期待に、ひいては国民の皆さんのご期待にこたえられる形になるように最後までご協力のほどよろしくお願いいたします。

先ほどご説明をちょっとしておいた途中でございますが、まず観光分野での報告を15分、20分程度でしていただいて、30分程度質疑応答を行います。その後同じスケジュールで住宅都市分野と国際展開分野の報告を行っていただきたいと存じます。なお、前回までの論点整理と同様、今回の各分野の検討報告につきましても、資料はこの場限り非公表といたしたいと存じます。その概要及び主な意見については、本日のディスカッションの主な内容につきましては、本会議終了後、私、座長のほうから記者の方々にブリーフィングをして、ご説明をする予定でございます。

それではまず観光分野の検討報告につきまして、平田委員、よろしくお願い申し上げます。

～ 以下、観光分野の検討報告 概要 ～

【平田委員からの発表】

○ 「観光立国日本」に向けて、3つの戦略（「訪日外国人旅行者の誘致戦略」、「観光地の魅力向上戦略」、「国民意識の改革戦略」）について、それぞれ細かいところを詰めて「三つの戦略、七つの戦術」としてまとめた。

○ 「訪日外国人旅行者の誘致戦略」については、以下のような3つの戦術に整理。

・ 訪日外国人3,000万人プログラムの展開

- 市場毎にきめ細かい数値目標を立て、効果的なプロモーションを展開。
- JNTOの実施体制の強化を図り、目標に対する成果主義を徹底。

・ メディア戦略

- 有力ブロガー等を活用した新しいメディアを活用した海外プロモーション
- ICTを活用した多言語による国内観光情報提供の推進
- ・ 海外出先機関におけるワンストップサービスの提供
 - 観光・文化政策の連携を中心に、窓口業務の一本化など連携強化。
 - 主要国の在外公館に日本を総合的に売り込む専任領事を配置。
 - 「観光地の魅力度向上戦略」については、2つの戦術に整理。
- ・ 新しい観光アイテムの創造
 - 文化、スポーツ、医療など他分野との融合による観光振興を推進。
- ・ 創意工夫を活かした観光地づくりのための規制緩和等
 - 着地型観光に即した旅行業規制や通訳案内士制度のあり方等を検討。
 - 地域の観光振興に携わる人材育成を推進。
 - 「国民意識の改革戦略」については、2つの戦術に整理。
- ・ 休暇取得の分散化の促進
 - GWや秋の大型連休の地域別設定など休暇取得の分散化に向けた取組を検討・実施。
- ・ 国民的な観光マインドの育成
 - 児童・生徒達の「旅をする心」「地域を愛する心」の育成のため、地域固有の文化・歴史等に関する学習時間の充実を推進。

【発表に対する委員からの主なコメント】

- 報告で挙げてもらった7項目の優先順位付けを行ってほしい。
- PDCAサイクル的なフォローアップの方法も盛り込んでほしい。
- 休日分散化を契機に、観光産業の構造を変えていく。
- 経済成長のみならず、国や人の成長も考えるべき。
- 行政でも民間企業でもない、個人やボランティア団体が手を挙げやすい仕組みづくりなどを考えてはどうか。
- 官と民の役割分担をはっきりする必要がある。

～ 以 上 ～

【長谷川座長】 じゃあ、この辺でよろしければ観光分科会は打ち切りにしまして、次の分科会に移りたいと思いますが、もう一つだけ申し上げておきたいのは、これは各分科会あるいはこの国交省の成長戦略のみならず、すべての成長戦略に共通するんですけども、冒頭、最初のときに私、申し上げましたが、やはり高校を卒業した人はもう英語で不自由なく意思疎通ができるぐらいのことを、やっぱり国家として考えていただかないと、すべての面でこれは大きなハンディキャップになります。それについていろいろ異論があることは事実だし、日本語がむちゃくちゃになるとかいろいろおっしゃる方もいらっしゃいますが、やはり民主党が東アジア共同体を掲げておられる限りにおいては、そこに出ていって必要な技術だとか製品だとかノウハウだとか能力をすべて発揮するためにも、英語がなければ何も始まらない。周辺国はもう全部やっているわけですから、そこだけはぜひこのことは別でありますけれども、お考えをいただきたいと思います。

それでは次に住宅都市分野のほうに移りたいと思いますが、まずじゃあ安さんのほうから、15分から20分程度でご説明をいただいて、あとは討議に入りたいと思います。

～ 以下、住宅都市分野の検討報告 概要 ～

【安委員からの発表】

- 住宅・都市分科会では、大きく3つの戦略に分け、以下の方向で検討を進めているところ。

・ 大都市イノベーション創出戦略

世界都市東京を始めとする大都市の国際競争力の強化とそれに向けた民間事業者の取組意欲を喚起するための制度の延長や拡充、大都市圏戦略の策定、大街区化の推進や一定の地区・要件での容積率の緩和などを実施。これらにより、国際競争力強化のトリガーとなる戦略プロジェクトを実施するとともに、積極的なシティセールスを展開。

・ 地域ポテンシャル発現戦略

- 地域の強みや個性を活かした自発的な地域戦略及びまちの再生をPPPで実現
 - ✓ 官民連携（PPP）による広域レベルでの戦略的な地域づくりを促す仕組みやその仕組みをコミュニティレベルでも実現するための「新しい公共」支援制度の構築

- ✓ 官民連携（PPP）による地区レベルでのまちのリニューアル推進に向けた、民間の参加を促すインセンティブの付与や計画段階から民間の参加を誘発する仕組み・手続の整備など
- 人と環境に優しいまちなか居住・コンパクトシティへの誘導
 - ✓ 都市機能やサービスのまちなかへの集約化によるまちなか居住の推進
 - ✓ コンパクトシティ化と併せたエネルギーの有効利用等によるCO2の大幅な削減

・ 住宅建築投資活性化・ストック再生戦略

- 質の高い新築住宅の供給と中古住宅流通・リフォームの促進を両輪とする住宅市場の活性化
 - ✓ 質の高い新築住宅購入への支援と優良なリフォーム・中古住宅購入への支援など
- 高齢者が安心して暮らせる住まいの確保
 - ✓ 民間によるサービス付き高齢者賃貸住宅に関する制度の法制化と供給の支援
 - ✓ UR団地等への医療・生活支援施設導入PPPプロジェクトの支援
- 環境に優しい住宅・建築物の整備
 - ✓ エコ住宅・エコビルの新築・リフォーム促進や「見える化」の促進、木造住宅の供給促進支援
 - ✓ 市街地環境の改善に資する住宅・オフィスビルの建替え等の促進 など

【発表に対する委員からの主なコメント】

- 都市の規模の大きさで考え方も変わってくるのではないかと。どの規模の都市を念頭においた政策なのかをもっと明確にすべき。
- 道路や交通網に関しても議論した方が良いのではないかと。
- 特に焦点を定める部分を明確化してほしい。
- PFI、PPPはこの分野では重要であり、難しいだろうが、PPPでどう変わるのかがわかるようにできるのが望ましい。
- 分権の中で主導権を持っているのは地方であるが、国の規制に係る緩和であれば国は明確に言えるし、また、大胆な規制緩和をすれば民間の人たちも成長のポテンシ

ヤルを感じることができるのではないか。

～ 以 上 ～

【長谷川座長】 住宅都市関係の予定の時間は近づいてまいりましたがけれども、じゃ次に移らせていただいてよろしゅうございますか。

本日最後の分科会発表で国際展開・官民連携分野の検討報告、大江さんのほうからお願いします。

～ 以下、国際・官民連携分野の検討報告 概要 ～

【大江委員からの発表】

- この分野の戦略目標は、「国土交通省が積極的に働きかけて我が国企業が新たに獲得した海外受注高を 2020 年までの合計で 10 兆円以上とする」「国土交通省関連の PPP/PFI 事業費について 2020 年までの合計で新たに 2 兆円実施する」
- 個別分野毎にその特性に合わせた戦略が必要であること、日本企業は一般的には個別の技術・システムは優れているものの、パッケージ化する力が弱いこと等に留意し、以下の政策案が必要。

・ 組織・体制の強化、リーダーシップ

国交省内の国際部門の体制強化、省庁横断的な推進体制、大使館や JETRO などの既存施設の支援強化、官民一体となったトップセールス、企業の組織・人材のグローバル化

・ スタンダードの整備

日本の規格を国際統一規格とするための取組、投資対象国のスタンダードの獲得のための取組、相手国への技術協力、国内外の規制・税制のイコルフットイング化

・ 金融メカニズムの整備

インフラファンドの検討、ODA 予算の活用（通信インフラ等）

- 厳しい財政状況の中で民間資金の活用を拡大するために既存制度（税制等の共通制度、公物管理制度）を見直し、PPP/PFI の活用を拡大するため、以下の政策案が必要。

・ PPP/PFIを推進するための制度面の改善（コンセッション方式の活用）

公物管理権の民間への部分開放（個別の公物管理法の特例を与える措置）や事業権付与の仕組みづくり、二重課税の回避、公務員派遣制度の見直し、投資持ち分の第三者売却問題（エグジットの仕組みづくり）

・ PPP/PFIの重点分野とプロジェクトの実施

空港、港湾、鉄道、道路、下水道を重点分野として、自治体・企業から事業提案を募集し、具体的なプロジェクトを形成、実施。また、行政財産の商業利用を積極的に支援（河川空間のオープン化等）

【発表に対する委員からの主なコメント】

- 国際展開を推進するためには、民間の自発的な取組だけでなくある程度官の後押しも必要
- 海外の市場で仕事をとるのであれば、日本の市場も開放すべき
- PPP/PFI では、かつての3セクと違って、ガバナンスがしっかりと働くような制度設計が必要
- ガバナンスが働くようにするためには、競争原理が働くようにすることが大切
- 郵貯、簡保の資金をインフラファンドとして活用していく場合においても、市場メカニズムの中でガバナンスがしっかりと働く制度設計をして、かつての財政投融资のような無駄な公共投資に資金を回さないようにすべき

～ 以 上 ～

【長谷川座長】 この辺でこれは打ち切らせていただいてよろしゅうございますでしょうか。

最後の分科会について、どなたかまだ言い残しておられることがございましたら、おっしゃっていただいて。もしないようでしたら、本日もうちよつと予定時間を過ぎましたけれども、最後に前原大臣のほうから締めくくりのごあいさつをちょうだいして、お開きにさせていただきますと思います。

【前原大臣】 皆さん、熱心なご議論まことにありがとうございました。いつも繰り返してお礼になりますけれども、この会議は氷山の一角でしてそれまでに各分科会で大変皆さん方には熱心にご議論いただきまして、立派なものをおまとめになりつつあるということ、

ほんとうに心から御礼を申し上げたいと思います。この間あるところでは言ったんですが、皆さん方の一般の時価評価を足したら相当な金額になるんじゃないかと思いますが、それをお弁当1個で来ていただいております、ほんとうに感謝申し上げたいと思います。皆さん方のこの結晶をしっかりと実行していくということ、改めてお誓い申し上げて御礼のごあいさつといたします。ありがとうございました。

【長谷川座長】 いずれ金融庁の方針で私の年収が開示されることになると思います。時間当たりの単価もいずれわかりますので。

【前原大臣】 そうですか。おそろしい話で。

【長谷川座長】 じゃあ、どうもありがとうございました。

— 了 —